

- 問1 10世紀の平安時代において、それまでの唐の文化の影響を強く受けた段階から、日本の風土や生活、日本人の感性に合わせた独自の特色を持つ文化が発展しました。この文化を何と呼びますか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 天平文化                      2. 安土桃山文化                      3. 国風文化                      4. 鎌倉文化
- 
- 問2 平安時代中期、藤原氏が自身の娘を天皇の妃とし、その子を天皇に立てることで政治の実権を握りました。天皇が幼少のときはその後見人として、成人してからはその補佐役として政治を行ったこの体制を何といいますか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 幕府政治                      2. 摂関政治                      3. 院政                      4. 律令政治
- 
- 問3 白河天皇が上皇（太上天皇）となって政治を行った目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 藤原氏による摂政や関白の力を抑え、自ら実権を握るため                      2. 天皇中心の政治を確立するため、すべての公職を廃止するため                      3. 源氏や平氏といった武士の台頭を防ぎ、朝廷の軍事力を高めるため                      4. 鎌倉幕府の勢力拡大を阻止し、律令政治の完全な復活を目指すため
- 
- 問4 藤原道長が「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」という歌を詠んだ時期の、藤原氏の権力の背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天皇の位を退いて上皇となり、天皇に代わって院の庁で政治を行う「院政」の仕組みを確立することで実権を維持した。                      2. 遣隋使や遣唐使を積極的に派遣して大陸の最新の政治制度を取り入れ、天皇を中心とする律令国家体制を再構築した。                      3. 地方の有力な武士団を武力で制圧し、全国の公領や荘園から徴収する年貢を独占することで、経済的な基盤を確立した。                      4. 自らの娘を次々と天皇の后に入れ、その子を天皇に即位させることで、天皇の母方の祖父（外祖父）として強い影響力を持った。
- 
- 問5 平安時代の文化的な特徴を説明した次の文のうち、紫式部が「かな文字」を用いて執筆した『源氏物語』の背景や内容として正しい記述を選んでください。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 国風文化の風潮の中で、女性の手によって貴族社会の生活や感情が細やかに描かれた。                      2. 武士の台頭を背景として、平氏の繁栄と没落を琵琶法師が語り伝えるために成立した。                      3. 自然の美しさや宮廷生活の鋭い観察を、「をかし」という感覚でつづった随筆である。                      4. 大伴家持らによって編集された、防人や農民など幅広い人々の歌を収めた歌集である。
- 
- 問6 藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂と、室町時代に足利義政が建立した慈照寺銀閣（銀閣）を比較した説明として、平等院鳳凰堂の特徴を正しく述べたものはどれか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 阿弥陀如来を祀り、華麗な装飾や池を中心とした配置によって極楽浄土を表現しようとした。                      2. 一層目が住宅風、二層目が禅宗様式の仏堂という、異なる文化が融合した二層構造である。                      3. 禅宗の影響を強く受け、書院造と呼ばれる簡素な武家文化の様式を取り入れている。                      4. 大陸との貿易で得た富を象徴するため、建物の外壁全体に金箔を貼り巡らせている。
- 
- 問7 平安時代末期の年表において、平氏が権力を握っていた時期に行われた、中国の王朝との交流の名称と主導した人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 日唐貿易 — 平清盛                      2. 日宋貿易 — 平将門                      3. 日元貿易 — 平氏一門                      4. 日宋貿易 — 平清盛
- 
- 問8 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした                      2. 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した                      3. 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした                      4. 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた
- 
- 問9 平安時代の中期以降、地方の有力者が自ら開発した土地を中央の有力貴族や大寺社に寄進し、名目上の領主になってもらう動きが広がりました。この仕組みにおいて、寄進を行った地方の有力者の主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 土地をすべて国有化し、朝廷の役人として給料をもらうこと                      2. 国司による重い税負担を回避し、土地の支配権を実質的に守ること                      3. 天皇から直接、新しい農具や肥料の提供を受けること                      4. 班田収授法に基づいて、土地を周辺の農民へ平等に再分配すること
- 
- 問10 平安時代の中期には、遣唐使の廃止などを背景として、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達しました。この時期、漢字を簡略化した「かな文字」を用いて紫式部によって執筆され、当時の華やかな貴族社会の様子を題材とした物語文学を選んでください。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 平家物語                      2. 万葉集                      3. 枕草子                      4. 源氏物語
- 
- 問11 平安時代末期、武家として初めて太政大臣の地位に就いた平清盛が、兵庫の「大輪田泊」を修築して積極的に推進した、大陸の王朝との貿易について述べた文として正しいものはどれか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 元の侵攻に備えるため、大陸との貿易を厳しく制限し、博多に防塁を築いて沿岸部の警備を強化した。                      2. 宋との貿易を盛んに行い、輸入された大量の銅銭は日本国内で貨幣として流通し、経済の活性化につながった。                      3. 唐との貿易を再開し、遣唐使を通じて最新の律令制度や仏教文化を導入することで、中央集権国家の確立を狙った。                      4. 明の皇帝から日本国王に封じられたことをきっかけに、勘合という札を用いて倭寇と区別しながら貿易を行った。
- 
- 問12 平清盛は、娘の徳子を高倉天皇に嫁がせ、その間に生まれた子供を天皇として即位させることで権力を確立しました。この時、清盛が「外戚」という立場で後見した天皇は誰ですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 安徳天皇                      2. 白河天皇                      3. 崇徳天皇                      4. 後醍醐天皇
- 
- 問13 平安時代末期、地方における武士の台頭や浄土信仰の広がりを背景に、東北地方の平泉で独自の文化が栄えました。この文化において、奥州藤原氏が極楽浄土の様子を地上に再現しようとして建立した建築物を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 東大寺大仏殿                      2. 唐招提寺金堂                      3. 中尊寺金色堂                      4. 平等院鳳凰堂